

科目番号	23087	分類	専門分野	履修者	東が丘・立川看護学部	学年	3
科目名	成人看護学実習Ⅱ（慢性期） (Clinical Practice of Adult Nursing: Chronic Care)						3
							配当セメスター 後期
担当者	○松本 和史 千葉 明美 原口 昌宏 服部 さゆり 他	区分	必修	単位	2	時間数	90
授業の概要および目標							
<p>【概要】 慢性期にある対象者の特徴を理解し、患者の生活過程を整えながら社会生活を営み、セルフマネジメント能力を患者自身が身につけるための援助の在り方を学ぶ。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 慢性期にある患者を身体、心理、社会的側面から理解する。 慢性期にある患者に対し、生活の再構築や社会復帰に向けた看護過程を展開する。 慢性期にある患者のセルフマネジメント能力を引き出すための看護援助を実践する。 退院後の生活の再構築や社会復帰に必要な病院と地域の連携システムについて理解する。 慢性期にある患者の家族の体験や価値観、家族機能を理解し、適切な看護援助を実践する。 慢性期にある患者を対象とした多職種チームの役割と機能について理解する。 自己の課題を意識し、主体的・積極的に学習する。 							
授業計画							
<ol style="list-style-type: none"> 事前学習を通して、慢性期看護に必要な基礎的な知識および看護援助技術を復習する。 慢性期にある患者を一人以上受け持ち、アセスメント・計画・実施・評価の一連の看護過程を展開する。 看護計画に基づき、受け持ち患者と家族に適切な看護援助を、積極的に実践する（セルフマネジメント支援、患者教育を含む）。 カンファレンスなどを通して、グループメンバー間で随時情報共有、意見交換を行い、効果的にグループ学習する。 退院後の継続看護のために行われている病院と地域の連携の実際を見学する。 							
事前・事後学習	成人・老年看護学実習要項参照						
評価の方法	実習への参加および目標の達成状況（80%）、レポート課題（20%）から総合的に評価する。						
参考図書・資料等	鈴木久美 他：看護テキスト NiCE 成人看護学 慢性期看護改訂第2版（南江堂）その他、適宜紹介する。						
履修要件	成人・老年看護実践論の単位を取得していること。						
備考	オフィスアワーについては、履修案内を参照し、教員と日程調整する。 実習オリエンテーションの出席、事前課題の提出を必須とする。						